

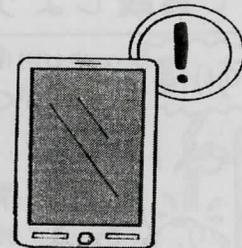
緊急でも正確に 救急車の呼び方

- ①119番にかけます。番号のみで消防本部につながります。
- ②「火事ですか、救急ですか」と聞かれるので、「救急」と答えます。
- ③どこで・誰が どのような状態かをはっきりと簡潔に伝えます。
- ④自分の名前、所在地、かけている電話の番号を正確に知らせます。
- ⑤救急車が来るまでにやるべきことなど、指示を受けます。
- ⑥救急車が着いたら救急隊員に患者の状況（容体、行った手当て、持病など）をくわしく伝えます。



◎携帯電話・スマホで通報するときの注意点

- ・通報の際、「携帯電話/スマホから」と忘れずに告げる
- ・転送のための空白（音声が無い）があっても、切らずに待つ
- ・救急車の目的地がわからなくなるので、現場を離れない
- ・途中で通話が切れないように、できるだけ立ち止まって話す
- ・通話終了後も、しばらくは電源を切らない

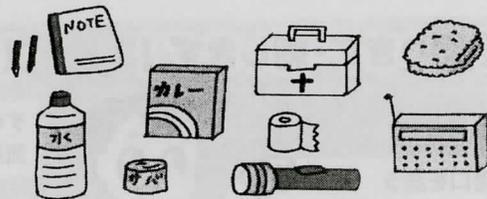


「もしも」に備え…非常持ち出し品について

災害時には身の安全を確保するため、いち早く避難する必要に迫られます。そのとき、どのようなものを持っていけばよいでしょう？

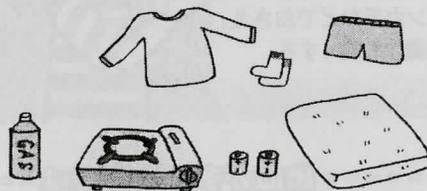
●一次持ち出し品

避難時にすぐ持ち出すべき必要最小限の備えで、最初の1日間をしのぐためのもの。
水、食料（調理不要なもの）、懐中電灯、携帯ラジオ、包帯など救急医療品、タオルなど生活用品。
レジャ シ トや筆記用具もあるとよい



●二次持ち出し品

避難した後で安全確認ができたなら避難所へ持ち込むなど、数日間の避難生活に必要なもの。
水、食料（少し多めに）、カセットコンロ、衣類、毛布など生活用品



いずれも日頃からしっかりと準備しておくことが原則です。「災害はいつかは必ず起きる」という意識を常にもっていただきたいですね。

保健室より

1学期に行った健康診断の結果、病院に行くよう紙を渡していた人で夏休み中に受診が済んだ人は、受診結果を保健室に提出してください。

まだ受診していない人は、時間を見付けてなるべく早めに受診し、受診結果を保健室に提出してください。